

■司会 嘉屋美智子〈広島県〉 広島県教育委員会生涯学習課専門員  
 富來 秋廣〈鹿児島県〉 鹿児島県教育委員会社会教育課指導主事

# 5.15

## 1. “リサイクル新提案”使用済み割り箸を紙に再生する運動の目指すもの 14:15～14:40

向井 哲朗〈鳥取県〉 王子製紙(株) 米子工場環境管理室上級技師

ゴミ減量と森林資源・環境の保全を図るため、7年前に社員食堂からリサイクル運動を始める。地元皆生温泉、自治会にも呼びかけ、全国規模の運動に広がった。各工場、行政、ロータリー・ライオンズクラブ、飲料店組合、自治会、学校、婦人会等、各種団体との協力を中心に、運動の理念と方法、成果と課題について発表する。

## 2. 「青少年の地域エコプログラム」の取り組みから 14:40～15:05

—環境を学ぶ 生きる力を育む—

川野 浩章〈広島県〉 広島県教育委員会生涯学習課社会教育主事

青少年が自分たちの生活する地域において、自主的・継続的に環境について学ぶ機会と環境保全活動を充実・活性化することを目的としている。エコプログラムに取り組むことで、青少年の豊かな心をはじめとした「生きる力」を育成するとともに、青少年のボランティア活動を推進し、青少年が主体性を持って参画できる地域社会の創造を目指した活動を展開している。

～ ティータイム ～

15:05～15:40

## 3. 自ら作り学び合う学級PTAの取り組み 15:40～16:05

—子どもの目線で考える—

梶井 厚子〈鹿児島県〉 国分市立国分西小学校PTA平成10年度副会長

平成10年より、これまでのPTA活動を反省し、大規模校における望ましい活動の在り方を研究、実践した。特に、役員・リーダーの資質を高めるための研修の充実、学年間の連携や内容の多様化を図るための記録簿等による情報交換、誰でも役員になれる雰囲気づくりに取り組んだ。その経緯や内容、成果と課題を発表する。

## 4. 中学生による地域へのアプローチ 16:05～16:30

—子ども会サミット成長の軌跡—

小宮 哲〈長崎県〉 野母崎町脇岬地区子供会育成会会長

平成4年、子ども会育成会を母体にサミット・リーダー会議として発足、組織的に活動を続けて7年目を迎える。7単位子ども会から中学2年生～小学6年生の代表が集まる。行事の企画運営を全て任せ大人は黙って見守るといった社会が形成され、中学生が喜々として参加している。ボランティア活動は、地域の人たちの評価も高い。

## 5. 総括討論 16:30～17:00